

滿漢族の
隔壁

外國人と
其の就業

狀況も亦宜なりと謂ふべし。然れども市街殷賑商工業の繁昌は、尙ほ能く其の餘音を傳へて、故都の面目を保ち、之を河南の洛陽に較ぶれば到底同日の論に非ざるなり。噫千秋變らざるは、獨り渭水、黄河の流にして、由來幾多の行客を悲ましめ、幾什の詩篇に上りしや知るべからず。予は照鄰が當時の感慨よりは、其の變遷の多きに因りて更に深きもの有るを覺ゆ。

城内は自ら四分に區劃せられて、其の東南及西南部は漢人、東北部は滿人、西北部は回人と、各々團結棲居せり。而して其の東北部と東南部を境し、堅牢の隔壁を設けたるは、想ふに滿漢兩民族の軋轢に成りしに非ざれば、恐らく滿人の自尊心を發揮せし證標ならん乎。

外人には我國人の高等學堂に教鞭を執る者三名、尙ほ二名は、師範學堂教師たるべき豫定の四名と共に來安すべく、其他中學堂に一名、三原高等學堂に一名、且つ城の北方約我七里なる、石油の採掘工事に従事する者七名(内技師一名、工夫六名)、西潼鐵路公司に三名(内技師一名、工夫一名、技手一名)、合せて十四名とし、更に我國人の外には、獨逸人一名は陝西郵政の監督に任せられて、偉大の權力を有し、米國宣教師ゼンキンスは此に在